

SSKS

療育ねっとわーく川崎

2010年6月20日発行
No.129 (2800部)
NPO法人
療育ねっとわーく川崎
発行者 江川 文誠
編集者 谷 みどり

みんなの伝言板 6月のカレンダー

ご感想は e-mail : kouhou @ rond.jp までどうぞ
☆編集メンバー 谷、山崎健、杉田、遠藤



はいきんぐくらぶずんずん

日曜日に開催予定
☆多摩川を歩く会です。障害のある方もない方も、みんな楽しく歩いています。サポーター募集中!
代表：桑原由起子
副代表 渡辺百合子・三浦ルイ子
お問合せは Rond・福田まで



マイライフ・カワサキ

☆第2火曜日予定

れいんぼう川崎で行います

お問合せは Rond・和田まで



豊かな地域療育を考える連絡会

第3木曜日の予定です
問い合わせ先 サポートセンター Rond

サポート研 (NPO法人 全国障害者生活支援研究会) JOINT PROJECT 2010

～第6回 勉強会のお知らせ～

タイトル：伝えてる？伝わってる？人を支援すること
テーマ：支援の現場における、チームや組織の中での人材育成
日時：2010年7月3日(土) 13:30～16:30 (終了後、懇親会あります)
場所：港区立障害保健福祉センター 7F 会議室(浜松町駅または大門駅より徒歩10分)
参加費：会員・準会員：無料 非会員：500円
申し込み：ファックスまたは E-mail にて
FAX: 044-271-8788
メール: support-ken@forest.ocn.ne.jp

発行所 郵便番号一五七〇〇七三 世田谷区砧六二二六一二一
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価一〇〇円

「青野浩美コンサート」

日時 2010年6月 26日(土)
13時30分開場 14時00分開演
場所 横浜ラポールシアター(新横浜駅から徒歩)
会費 1200円(前売1000円)小学生以下無料 「医療的ケアおふんねっとわーく*神奈川」と「フュージョンコム かながわ・県肢体不自由児協会」の共催。お問い合わせは同協会の事務局電話045(311)8742、ファクス045(324)8985。

彼女は大学で声楽を学び、ソプラノ歌手として次のステップを目指している矢先に、原因不明の難病になり、一時は全身が動かなくなりました。懸命なりはや治療により車いすには乗れるようになりましたが、夜間無呼吸になると言うことで、気管切開に踏み切られました。歌手になる夢をあきらめ命を優先した決断でした。

しかし、2年前からコンサートを開始しました。気管切開をしてスピーチカニューレを装着、夜間は人工呼吸器を装着している状況は変わりませんが、その歌声には心揺さぶられるものがあります。夢をあきらめない彼女の想いに、聞く人の心が揺さぶられます。

<http://homepage3.nifty.com/kazu-page/book/book-kanna>

中野島和太鼓クラブ風 コンサート『風舞一心ひとつに』

主催：中野島和太鼓クラブ風
【後援】川崎市・川崎市教育委員会・朝日新聞横浜総局

- ゲスト出演 琉球國祭り太鼓神奈川支部
- 友情出演 中野島親子太鼓「元氣組」

日時：2010年7月18日(日) 16:00
開演(15:30開場)
場所：エポックなかはら 大ホール(JR南武線 武蔵中原駅すぐ)
料金：指定席1500円、自由席大人1000円小・中・高・障害者500円

会員・賛助会員募集

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond
TEL 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: info@rond.jp <http://www.rond.jp/>
(会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費2000円 賛助会費一口1000円

こんなとき どうするの

重度の知的障害の女の子です。最近体が大きくなってきたみたい
…太りすぎも心配です。どんなことに気をつけたらいいですか。
(長谷川元〇Tの研修会から)

〈答え〉〈太るのは絶対ダメ〉

でも仕方ないですよね。カロリー計算をしてあげましょう。

一般的に、成人男性は、1日3500〜4000歩、専業主婦で6000歩が平均歩数となります。小学生1万8000〜2万歩、ダウン症児が3000歩、どんなに多動な自閉症児でも7000歩です。多動で困っていても、決まったパターンでしか動いていないので、効果的な運動はできていないのです。成長期で太るのは、皮下脂肪もつきますが、筋肉の繊維の間に脂肪がつきやすいことが問題です。食べすぎは良くないのです。

〈身体をつかきましょう〉

ただ歩くだけでは良い運動になりません。バンザイの姿勢、手を上にしっかりと上げる運動が大切です。手をしっかりと上げられないと、姿勢はよくならないし、安定してきません。手を上げての間は、お腹と背中がしっかりと緊張してウエストを締めています。筋肉をしっかりとしめて、し

かも背骨をまっすぐ伸ばしてくれませんか。

手をしっかりと上げると、骨盤が自然に前に出て腰が曲ったのが伸びます。そうすると重心が前に移り、アキレス筋がしっかりと伸びます。

腕が下がっている時は、肩甲骨はまったく動きません。腕を90度以上あげると肩甲骨が上がります。上げている間は骨盤と肩甲骨の間がしっかりと伸びます。自分の力で手を上げることによって、身体を引っ張る、成長しようとする姿勢になります。

ただ、「手を上に上げて」と言ってもなかなかやってくれません。たとえば、ボール遊びをする。ボールを投げる時はたいい両手で下から上に投げる格好になります。それを頭の上から投げるように、大人が見本を見せてやってあげます。最初は下手でもだんだんできるようになるでしょう。

興味があればガラス

今月号の目次

- 1 こんなときどうするの……………1
- 2 2010年度医療的ケア実務者研修……………2
- 3 療育ねっとわーく事務局だより……………3
- 4 10周年記念総会開催……………4
- 5 ケアホームの新規事業企画……………5
- 6 明日香のたまご……………6
- 8 みんなの伝言板……………8

(本誌3〜6頁は会員のみ配布)

2010年度医療的ケア実務者研修

2010年度医療的ケア実務者研修趣意書

口から食事が上手にとれないために管を通して栄養を補給したり、呼吸に障害があつて気管切開を行う場合があり、それらのケアを退院後自宅でおこなう場合を医療的ケアとよび、多くの場合家族のみが医療的ケアを担っています。

しかし近年、在宅療養生活をより豊かにするために学校や施設に通ったり、街に出て余暇を過ごしたりすることが普通になってきました。そのような地域生活を享受するために家族以外の者による医療的ケアの実施支援が不可欠となってきました。平成16年から17年にかけて養護学校に通っている吸引や経管栄養といった医療的ケアを必要とする児童生徒に対する非医療職の関わりや、在宅療養者や重度障害者に対する家族以外の第三者による吸引行為などが一定の条件下で認めるとした通達が出されました。実施にいたる条件は3つに集約されます。一つめは退院させる医療機関側がしっかりと

在宅療養環境をととのえ、かつ家族以外のケア支援者のバックアップをすること。二つめは支援者となるものが知識・技能に関して教育と指導をうけること。三つめは実施に際してケアを受ける人とケアを実施する人との間で同意書を交わすことです。本研修は二つめの条件の内、実施が困難であるためこの通達の実効性が進まない原因とされていた「知識と技能に関する教育」の基礎部分を受け持つものです。研修をうけることにより、修了生が各自の活動場面で利用者・医療職と連携をとることにより「医療的ケアが必要な状態の方が充実した地域生活を営む」ことを目的として実施します。障がい児者の在宅率が高いこの神奈川県が発信者となつて、地域支援の礎を築いていきましょう。

（文責担当理事 江川文誠）

在宅療養環境をととのえ、かつ家族以外のケア支援者のバックアップをすること。二つめは支援者となるものが知識・技能に関して教育と指導をうけること。三つめは実施に際してケアを受ける人とケアを実施する人との間で同意書を交わすことです。本研修は二つめの条件の内、実施が困難であるためこの通達の実効性が進まない原因とされていた「知識と技能に関する教育」の基礎部分を受け持つものです。研修をうけることにより、修了生が各自の活動場面で利用者・医療職と連携をとることにより「医療的ケアが必要な状態の方が充実した地域生活を営む」ことを目的として実施します。障がい児者の在宅率が高いこの神奈川県が発信者となつて、地域支援の礎を築いていきましょう。

障がい者制度改革推進会議の報告

2009年9月民主党政権成立後、長妻厚生労働大臣は、自立支援法の廃止を約束し、2010年1月から、障害者制度改革本部の下、障害者制度改革推進会議が開かれました。障害者とその関係者が中心となつたこの会議で、多方面にわたる論議が速い速度で重ねられ、6月7日に開催された第13回障がい者制度改革推進会議では、「障害者制度改革の推進のための基本的な方向」（第一次意見）が承認されました。

この基本的考えは「はじめに」「I 我が国の障害者施策の経緯」「II 障害者制度改革の基本的考え方」「III 障害者制度改革の基本的方向と今後の進め方」の三章から構成されています。今後、推進会議では「第一次意見を元に、平成22年秋から年末を目途に、制度改革の重要方針に関する第二次意見を取りまとめる」とし、障害の定義などの議論の一定の整理を行なった上で、重点課題として、①障害者基本法の抜本的改正、②差

にどのようにしたら良いのか困っている方。

【A研修】定員70名、内容解剖学・病態生理学・看護知識・実技・ほか
会場：第1日 神奈川県総合医療会館（市営地下鉄伊勢佐木長者町下車徒歩3分）第2日 ソレイユ川崎（小田急新百合ヶ丘からタクシー配車予定）
受講料5000円（資料代込）

【日程】2010年7月24日（土）10:00～17:00 頃 全体講義（170名）2010年7月25日（日）10:00～17:00 頃 実技指導

【研修内容】（1日目）10:00～17:00 頃 全体講義の参加も可能です。

息を吸うための筋肉と胸郭の動き・閉塞性呼吸障害と拘束性呼吸障害・呼吸障害への対応
細田のぞみ先生（相模原療育園）
ケアの基準
・ぜひこ解消法・吸引法の原理ケアの手順・吸引方の実際・経管栄養の見守り方
島田珠美さん（川崎大師訪問看護センター）
ケアの法的位置づけ
・厚生労働省通達によるケア実施の位置づけ・手続き説明（同意書の作り方）・医療機関との関係をどうとるか
下川和洋先生（都立八王子東特別支援学校）予定

【内容】医療的ケアの必要な方の在宅生活
・ALSの方の在宅生活から・さくらモデルによる支援システム
川口有美子さん（ALS/MNDサポートセンターさくら会）
食べることにかわる仕組みと働きと病気
・食べ物を通り道・摂食の7段階・嚥下の仕組み、誤嚥の仕組み・嚥下訓練・嚥下障害への対応

【対象者】1 医療的ケアに現在関わっているか、今後予定している方。
2 ボランティアで医療的ケアのある方に関わっている方。3 具体的

【お問い合わせ・申し込み先】
特定非営利活動法人フュージョン
コムかながわ・県肢体不自由児協会
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4番地2 神奈川県社会福祉会館内
fax 045(324) 8985 TEL 045-(311) 8742
E-mail : jimukyoku@kenshikyou.jp
担当 白岩、松田
詳細については下記ホームページでご覧いただけます。
http://www.kenshikyou.jp/index.htm

別禁止法の制定、③障がい者総合福祉法の策定を行うとしています。
「障害者制度改革の推進のための基本的な方向」（第一次意見）個別分野の中の「障害児支援」の項目のみ紹介します。

この間、国会ではびつくりすることが起きていました。
推進会議が進められる一方で、国会では、自立支援法をめぐる別の動きがありました。
5月28日の衆議院厚生労働委員会で「障害保健福祉施策を見直すまでの間、障害者の地域移行等を進め

るための障害者自立支援法等の一部を改正する法律案」が、与党案と自・公案を一本化した法案として委員長提案され、同日可決。6月1日の衆議院本会議で採択されて参議院に送付。6月2日の参議院厚生労働委員会で75分間の審議で可決し、参議院本会議での可決・成立を待つばかりの状況になっていました。しかし、首相交代による政局の動きがある中、次々と案件が提出された結果、本会議が開催されないことが決定。今回の自立支援法「改正」法案は実質的に廃案となりました。

5) 障害児支援（推進会議の問題認識）

障害児は、一人の子どもとして尊重され、すべての人権、基本的自由を享受しているという観点から、障害児の最善の利益を考慮した施策が講じられる必要がある。

【障害児やその保護者に対する相談支援】

相談支援については、障害児の出生直後又は「気になる」・「育てにくい」段階から、医療及び福祉関係者からの適切な情報提供、心理的サポートが不足しており、障害児を含め、その家族に対する十分な支援が提供されていない。このような現状を改善するため、以下を実施すべきである。
・子どもの障害について、地域の身近なところで第一次的に相談対応を行い、必要に応じて適切な専門機関へとつなぐ仕組みを構築する。
・障害児及びその保護者に対する相談や療育等の支援が、障害の種別・特性に応じた言語環境により、かつ地域の身近なところで提供されるよう必要な措置を講ずる。

障害の専門機関の者が地域に出向き、保健センターや地域子育て拠点における保健師、保育士等と連携した効果的な相談支援を提供できるよう、必要な措置を講ずる。
・障害児支援においては、家族（特に母親）に過大な負担を強いる現状を十分に配慮し、家族の負担を減らすための具体的な施策を講ずる。

【児童福祉における障害児支援の位置付け】

障害児支援は、早期に必要な専門的支援が求められる反面、その支援が障害児のみに注目した形でのサービス提供になりがちであるため、その家族への支援や地域社会との関係が置き去りにされている場合がある。また、障害の軽減のみが重視されがちであり、そのことが本人の障害に対する否定的な認識を助長してしまうという問題もある。このような現状を改善するため、障害児支援については、家族への子育て支援や地域において一般児童と共に育ち合うことが保障されるよう、一般の児童福祉施策の中で講じられるようにすべきである。【厚生労働省】

（政府に求める今後の取組に関する意見）

○ 障害児やその保護者に対する相談や療育等の支援が地域の身近なところで、利用しやすい形で提供されるようにするため、現状の相談支援体制の改善に向けた具体的方策について、総合福祉部会における議論との整合性を図りつつ検討し、平成23年以内にその結論を得る。
○ 障害児に対する支援が、一般施策を踏まえつつ、適切に講じられるようにするための具体的方策について、総合福祉部会における議論との整合性を図りつつ検討し、平成23年以内にその結論を得る。

※「基本的考え方」の全文は内閣府ホームページに掲載されています。
http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/kaikaku/s_kaigi/k_14/pdf/s1.pdf

明日香のたまてばこ



みなさん、こんにちは。
私の体にも、新たな問題が出てきてしまいました。首です。私の場合、どうしても首を使ってコントロールをするため、昔から訓練の先生に「将来的に絶対痛みが出てくるから気を付ける」と言われています。成人を迎えてから、何度か首のレントゲンは撮っているのですが……。

という訳で、いつかは痛みが悩まされる日が来るんだというのは分かっていました。

一年前に初めて首の痛みを感じました。遂に来たか！と思い、こんな早く来るなんてとちよつとへこんだ気がします。私の中で、こんなに早く来るとは思っていなかったからです。いくら周りから言われても、頭で理解しているだけで、それが私に來るのはもつと先の事だろうと、甘く考えていました。一応、レントゲンを撮り骨に異常はなく、訓練でも触ってもらっているうちに、一週間程で痛みは消えました。ああ、良かったと思つたと同時に、痛かつた事など忘れかけていました。本当に不思議ですよ。

4月中旬、また首の痛みが来てし

まったのです。初めは、あれえ、首を寝違えたかなあ？くらいにしか思っていませんでした。ですが、全然痛みが取れません。痛い所が、頭か首か分からない部分が痛い為、偏頭痛なのかあ？とも思いました。それにしても長すぎます。

訓練の先生に話すと、たぶん首だろうとはっきり言われてしまいました。やっぱりとは思いましたが、いまいち確信が持てません。しかし、その後の訓練で首だと確信してしまいました。

先生に触られた部分が、まさにそこ！だったのです。やっぱりそうだったのかあ。これからこの痛みと付き合つて行くのだと、改めて実感しました。まだ私、30なのに……まっ、そんな事を言つてもしょうがないですよ。

今は痛みが少し治まりましたが、また出てくるでしょう。とりあえず、上手く付き合つて行こうと思つています。

鈴木明日香

療ね事務局便り

5月は、第3水曜日がある重なるため、10日に変更して開かれました。13名の参加がありました。

話し合いの内容は、総会の担当と進行次第、夏の家のボランティア募集チラシとポスターを大学・高校へお願いに行く担当・青少年の家族利用者調整会議へ行く担当を決めました。

先月号に掲載があった、松澤さんからの『通所の場所を作りたい』というお話があり、私自身では協力できることがあれば、と思つています。個の力は弱いけど、3人よれば、文殊の知恵というように、個の持つていないものが集まれば実現できないこととはしないのでは……。

(佐藤)

『高等部卒業後の通所保障について』懇談会を開きます。

5月号に掲載された「通所の場所を作りたい」の提案をもとに、どんなことができるのか、障害福祉課の方との懇談会を開きます。関心のある方は、どうぞいらしてください。

日時：7月1日10時～12時
場所：麻生保健福祉センターの2階
主催：松澤

ヘルパー研修会報告

5月19日、長谷川元O.Tによる「子どもの体の動かし方」についてのヘルパー研修会を行いました。まんぼうを利用されているお母さんにもご案内したところ、たくさんの方が参加されました。発達障害の子どもたちが、身体の使い方がうまくできず、姿勢を安定させられない不快感から多動になってしまうことへの理解など、子どもたちの側に立った支援のあり方を具体的にお話ししていただきました。

長谷川先生の研修会は、2回目も

編集後記

総会に向けて「療ね」10周年記念の写真整理やニュースの整理をしています。最初の頃のニュースを見ると、かつて私が南部「療ね」の準備会を作っていたことがあり、その時の書面が約10年前だったことを思い出しました。その活動は途中でレスパイトの協力を求められて、「ポトフの会」として現在も続いています。現在のような「療ね」にすることは出来ませんでした。月1回のレスパイトボランティアは川崎看護短大のボランティアグループと長い付き合いをさせて頂き、卒業後も看護師になつて時間があれば、いまだに参加してくれる方もいます。そうした学生も最初は18歳だったのが、「今いくつになつたんだっけ」と聞くと「やだ、もう26ですよ」といわれて月日の経つ早さに、少しため息が出たりします。この10年で何が出来たのだろうか？と振り返ると、若い世代に何を残せたか、ということを最近つくづく思うようになりました。障害のある子どもとの関わる場を提供しただけかもしれないですが、いまだに続く若い人たちとの関係に感謝しつつ、その源にある障害のある子どもたちの力に改めて敬意を表する今日この頃です。

(山崎)

10周年記念小誌を作りました

A5版60ページです。
第1章 療育ねつとわーく川崎ができるまで

療育ねつとわーく川崎は、重い障害のある子どもたちのお母さんたちの会（ハンディのある子どもたちの医療を充実させる会）と重い障害のある人たちの地域生活を考える会（川崎在宅療育を考える会）が、川崎の医療や福祉、教育を何とかしようと、協力して活動する中から生まれました。

第2章 NPO法人療育ねつとわーく川崎としての活動開始

2000年に、二つの会は、一つになって、障害のある子どもたちのおかあさんたちが中心のネットワークを広げる活動と、ロンドのサポート事業の二つの活動を進めるために、特定

非営利活動法人（NPO法人）になりました。

第3章 ネットワークとサポート

療育ねつとわーく川崎の出發は、日本の障害者福祉制度が大きく転換する時期と重なります。支援費制度に始まり、目まぐるしく変わる福祉制度に振り落とされないようにするのが精いっぱいという時期もありました。職員が辞めていくなど大変なこともありましたが、お母さんや当事者の願いを広げるネットワークと、今困っている問題を解決するサポート事業と、二つの事業を持続することができました。

※ご希望の方は、ロンドにご連絡ください。郵送をご希望の場合は、郵送料80円がかかります。

企画する予定です。また、「障害のある人の生と性」などの研修会も予定しています。ニュースでご案内し

ますので、ヘルパー以外の方、療育ねつとの会員さん以外の方もどうぞいらしてください。

10周年記念 総会開催

〈10周年に、一言…当日欠席された方からのメッセージを一部ご紹介〉

いつも大変お世話になっており、感謝の気持ちは尽きません。ますますのご発展を期待するとともに制度が少しでも早く良い方向に改革されることを願うばかりです。(Yさん)

お世話になっていきます。目まぐるしく変化する社会の中で、決して変わらない人の真心をこれからも伝えてほしいと思っています。(Fさん)

今後の検討をお祈りしています。時流に合った支援を期待しています。(Tさん)

10年間の Rond があから、今、ものすくすくたくたく働かせていただいています!! これからも、よろしくお願ひします。10年間支えてくださっている皆様に、感謝感謝です!! (Mさん)

子育てに忙しく、なかなか関わることもできませんが、また Rond に加わられたらいいなと思っております。(Kさん)

いつも大変お世話になっております。100周年に向けて頑張ってください!! いくつかご恩返しができたらと思っています。(Oさん)

今後さらなる発展と障害者とその家族の支援をよろしく願ひします。(Nさん)

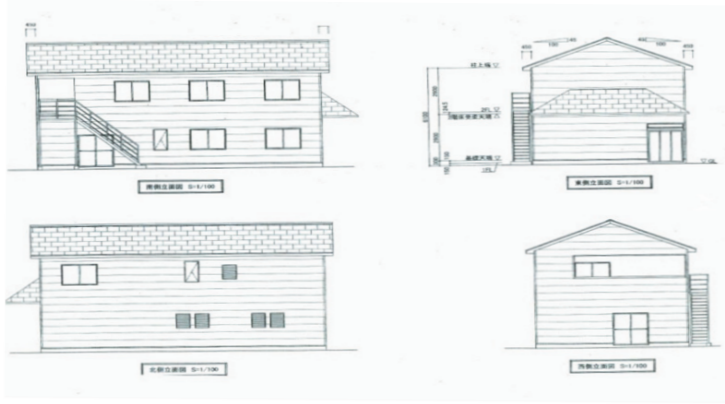
ケアホームの新規事業企画案

新規事業企画案

①ケアホーム完成予定図(2011年3月入居予定)

②説明会の開催

5/12(水)に、多摩市民館でケアホーム説明会を開催しました。お忙しい中、当日は21名と予想していた



えるだけで恐ろしいです。今では家族の次に大切な存在です。いつもありがとうございます。(Fさん)

この10年いろいろなことがあったと思いますが、みなさまの支えがあったから10年目を迎えることができたと思います。(Sさん)

息子も養護学校を卒業して10年。いろいろな経験をさせていただき、成長を見守ってもらいました。これからもよろしくお願ひいたします。(Iさん)

当事者への地域生活支援を始めて10年、これまでの足跡に「感謝」をそしてこれからの道に「弥栄」を! おめでとございます。(Iさん)

本当に、いつもお世話になっております。これからも私たちも協力して、よりよい団体していきたいですね。よろしくお願ひします。(Uさん)

障がい者に、社会への開かれた道を歩ませていただき、ご苦労を思いながら感謝の気持ちでいっぱいです。ますますのご発展を切望いたします。(Oさん)

Rondさんがなければ、心身ともに疲れ切ってしまうなんていんだらう! と思います。子どものすべてを受けとめ、寄り添ってくださる皆さんの姿勢に感謝! です。(Kさん)

Rondさんには、緊急な困った時に対応していただき、いつも助かっております。これからもよろしくお願ひいたします。今後もRondの活動を長く続けていただきますよう願っております。(Kさん)

これからも20年30年と続きますように子どもはもちろん親の味方でいてください。(Kさん)

10年の歩みが大きく大きく膨らみま

よりも多くの参加をいただき、ありがとうございました。ケアホームに至った経緯、場所、定員、対象者、居室、費用負担、設備、生活面、体験室、スタッフ配置…など、一般的な説明をさせてもらいました。勉強不足だった点、時間的な制約で質問に答えきれなかった点などあり、もっとみなさんのニーズに答えられればよかったです。不完全燃焼感が残りましたが、それでも今できる限りは尽くしたつもりです。居住の場ということで個性が高いので、みなさんそれぞれ自分に該当する質問をお持ちだったのでないかと思ひます。足りない分はこれから、面談や問い合わせなどで埋めていければと思ひます。

夏の家のお知らせ

第13回夏の家を次の日程で開催します



主催団体 夏の家実行委員会（今年から、この名称で3回開きます）
実施日 募集人員 場所 川崎市青少年の家（宮崎台）参加費用（共通）
8月1日（日）～3日（水） 20名（療育ねっとわーく川崎の会員）
8月13日（金）～15日（日） 20名（ハイキングクラブずんずんの方が中心）
8月22日（日）～24日（火） 20名（重症心身障害児を守る会の方が中心）二泊三日（全日）15,000円・一泊二日 8,000円
※各開催とも初日は13:00受付開始、最終日は11:00終了です。（開催中のイベントについては計画中です。）
※参加資格◎療育ねっとわーくの会員、又は各主催団体の会員の方◎中学生以上の方で、外泊経験のある方。

※外泊経験のないお子さんは環境変化について行けない事も多く、慣れないボランティアさんが戸惑う場合もあり、実施上の安全面から考慮して制限させていただきますので、悪しからず、ご了承ください。

※申込者多数の場合は、お断りすることがあります。

※ボランティアさんや、スタッフの集まりが悪い時は、募集人員の変更や中止とさせて頂く場合があります。

【申し込み先】サポートセンター Rond TEL044-930-0160 FAX044-930-0128

【締め切り】 6月30日（水）

した。これからもますますみんなの力が大きく膨らんでいくことを期待します。(Kさん)

会報を読ませていただいて、情報を得たり、他の方の悩みも相談も勉強になります。ありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。(Sさん)

スタートしたころの小さな会場での小さなクリスマス会や夏の家が思い出されます。これからも「音楽」で少しづつ関わらせて頂けたら嬉しいですね。(Sさん)

おめでとございます。すごいですね。規模も大きいし…利用者さんのニーズに添えていこうとする姿勢にいつも感服しております。(Sさん)

小学生の時から、Rondさんにお世話になっていきます。来年は息子も高等部を卒業します。Rondさんには本当に支えていただき、親子ともども感謝しております。これからもよろしくお願ひいたします。(Tさん)

もう10年なんですね。ひまわり荘に中古ジャーやマット等運んだことが、思い出されました。今ではすっかり企業事業になり、あの頃のボランティア時代からは、想像もできません。今後は子どもたちのため頑張ってください。親は年とり、ガタがきてしまいました。よろしくお願ひします。(Hさん)

子どもが2歳のころからお世話になり、7年になります。幼くて目が離せず眠れず、心身ともに疲れてしまった時に助けてくれたRondさんに、とても感謝しています。今後ともお世話になります。10周年おめでとございます!! (Mさん)

定期総会、10周年記念講演、パーティーおめでとございます。重度重複障害を持つ子(24歳)の親としては、思いを形にして、大きく積み上げてこられた皆様方のパワーの凄さ、川崎が羨ましいです!! (Mさん)

まだ、10年ということが信じられないくらい、活動が浸透し、私の生活になくってはならないものになっています。特に、この2、3年の活動の広がり、目を見張るものがあります。これからの10年、ますますの飛躍を期待しております。(Mさん)

そしてありがとうございます。療育ねっとわーくがあるおかげで、とても助かっていますし、いろんな情報を得ることができ感謝しています。(Mさん)

障害のある子の親として、皆さまには感謝でいっぱいです。10年前子どもを預けられるなど考えられませんでした。場所もなくて。今その仕事ができ、うれしく思います。(Mさん)

いろいろ大変なことが多くあったと思います。無事10年を迎えられおめでとございます。これからもよろしくお願ひいたします。(Yさん)

長い期間ヘルパー派遣していただきましてありがとうございます。今後とも発展していくよう願っております。(Hさん)

あつという間の10年でした。みなさんに出会えて本当によかったです。(Sさん)

これからも私たちの支えとなつていただきたいと思います。パーティーでは、3周年を迎えた「こわ」から参加させていただけます。誰もが地域で自分らしく暮らせるよう願っております。(Tさん)